

(様式)

大阪市建設局設計・施工技術連絡会議 議事録

工 事 名	淀川左岸線（２期）トンネル整備工事－３		
会 議 名 称	大阪市建設局設計・施工技術連絡会議（第１回）		
開 催 日 時	令和４年７月１３日（水）１５：００～１６：３０		
開 催 場 所	建設局野田工営所（淀川左岸線２期建設事務所）３階会議室		
出 席 者	発注者	設計者	受注者
	建設局淀川左岸線２期 建設事務所 設計課 建設課	株式会社 エイト日本技術開発	大成・村本・森本・寄神・ 中央復建特定建設工事 共同企業体
	議題・議事の内容		
	<p>（１） 工事概要</p> <p>淀川左岸線（２期）事業は、此花区高見から北区豊崎までの自動車専用道路であり、淀川堤防と一体構造となるトンネル構造物を開削工法にて整備するものである。</p> <p>本工事は、淀川左岸線（２期）事業のうち、北区大淀北１丁目から豊崎６丁目区間を対象とし、詳細設計付きの工事を行うものである。</p> <p>（２） 事案概要</p> <p>本事案は、以下の項目について、設計変更案の妥当性を確認するものである。</p> <p>○ 追加土質調査の結果、土を乱すことによる液状化のリスクがあると判明したため、基礎構造について見直す必要が生じている。</p> <p>事案に対する検討内容</p> <p>○ 豊崎出路橋下部工の基礎形式について、設計条件及び施工に先立ち明らかとなった課題とその対策を精査する。</p> <p>（主な意見）</p> <p>○ 豊崎出路橋下部工の基礎形式の変更について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 設計コンサルタントによる上部工の詳細設計の結果、豊崎出路橋下部工のP1橋脚の基礎構造として場所打ち杭からオープンケーソンに変更している。・ オープンケーソン工法の比較仮設工法として、アーバンリング工法は経済的かつ土質性状に合致しており、かつ最終的なケーソン基礎構造物は変わらないため、採用することは適切である。・ ケーソン内部の埋め戻しは水もしくは土で可能であるため、工事内で流用調整を行うことで、さらなるコスト縮減に繋げることができる。		